



令和 6 年度

事業報告

社会福祉法人 不二健育会

特別養護老人ホーム ケアポート板橋
ケアポート板橋 短期入所事業
舟渡高齢者在宅サービスセンター
舟 渡 ヘルパーステーション
か も め の 家
東坂下高齢者在宅サービスセンター
板橋区舟渡おとしより相談センター
舟渡居宅介護支援事業所

目 次

社会福祉法人 不二健育会 <http://fujikenikukai.or.jp>

事業報告(全体)	3
特別養護老人ホーム ケアポート板橋・ショートステイ	4
舟渡高齢者在宅サービスセンター.....	18
舟渡ヘルパーステーション	24
かもめの家	27
東坂下高齢者在宅サービスセンター	30
板橋区舟渡おとしより相談センター(介護予防支援)	36
舟渡居宅介護支援事業所(居宅介護支援)	40

令和6年度は、「安全」「経営」「親身な対応」の3本の柱に基づき、徹底した経費削減とDxの導入、また部門長自らが他部署への貢献を考え、よりOurteam経営の意識を高める為、インナーブランディング、アウターブランディングを実践して参りました。職場環境改善におきましては、福利厚生の実施を図り、結婚祝い金30万円や出産祝い金50万円など、結婚・出産、子育てを行いながらであっても、安心して就労し続けることができる環境を整え、7名もの職員がこの制度を活用した結果となっております。

令和4年度より進めて参りました「都有地活用による地域の福祉インフラ整備事業(品川区東大井三丁目特養新設)」につきましては、昨今の物価高騰及び建築費高騰により、事業実施が困難と判断せざるを得ない状況となり、東京都及び品川区と協議を重ね、苦渋の決断ではございましたが事業中止の決断をさせていただきました。

当期活動増減差額は、1,216,823千円(補助金含む)と予算差40,065千円の増収にて着地。入所サービスにおきましては、特養の空床をショートのアパートでフォローし、ベッドコントロールを行っております。地域包括におきましては、高齢者人口が昨年度対比65名。予防給付管理数は4,663名と昨年度対比438名の結果となり、地域の高齢化、及び急速な給付件数増を感じております。

1. 財務の視点としては、サービス活動収益1,135,858千円(補助金含む)。予算比▲2,915千円の減収。東坂下拠点単体におきましてはGHの稼働低迷はありましたが、通所介護の稼働改善により、前年比10,521千円増と東坂下拠点として短年黒字となりました。
2. 組織管理の視点では、特養において竹川病院との連携の基、新たに「協力医療機関連携加算(100単位/月)」の取得や、ご利用者第4段階における食費値上(300円/日)のご了承を頂くなど、物価高騰に対応した取り組みを実施しております。GHにおいては、待機者減への対応策及び社会福祉法人の使命として、生活保護枠の申請を行い受理して頂くことができました。
3. 利用者満足の見点では、ご家族直接面会、年間延べ1,122家族、1,550名のお受入れや、408ブログアップにて日常生活の様子をお伝えしており、計68,188件の閲覧を獲得致しました。また、食材費高騰の中でも献立に創意工夫を行い、年4回の喫食調査においては目標90%に対し平均90.7%と、献立内容においてご満足いただける結果となりました。
4. 人材の見点では、離職率5%目標に対し9.9%の結果。非常勤退職8名は、疾病や高齢に伴う退職が全てであり、平均年齢も57.4歳と年々上昇しております(全職員平均年齢42.3歳)。また、産休及び育児休暇により職員補充ができない中、派遣職員の雇用を余儀なくされましたが、数少ない新卒介護職の中でも、2名獲得に繋げております。EPA介護福祉士のネットワークでの獲得や、GHにおいては新たにミャンマーからの特定技能実習生を受け入れなど、新たな介護職獲得に向けた仕組みを確立し、安定した介護職確保を目指して参ります。
5. 職場環境改善への取り組みでは、有給取得率は全体合計で61.8%の取得、1人当たりの残業時間につきましては、5時間以内の目標に対し4時間30分と、時間を占めていた会議体開催方法の変更により、大きな効果を生むことができております。
6. 危機管理としましては、感染症による影響は最大7日間のフロア閉鎖のみであり、日々のスタンダードプリコーションが機能した1年となりました。BCPに基づく総合訓練は年2回実施できましたが、部署毎における現場に則した訓練が未実施となっている為、来期の目標としております。

品川区にけおる特養新規案件におきましては誠に残念な結果となりましたが、社会福祉法人としての使命を全うすべく、孤立・孤独を抱える高齢者を減少させて行けるような新規事業や取り組みを、来年度は企画・実施して参ります。

【特養部門】

特別養護老人ホーム ケアポート板橋

介護主任 小西 誠之

(介護老人福祉施設)

(1) 特養部

令和6年度は「予算数値目標を達成できる運営」「個別支援と親身な対応の実現」「チャレンジできる組織づくりと職場環境改善」の3本柱を掲げ、今まで作り上げてきた基盤を更に強化して参りました。運営面では、7月後半より入院者多数あり、年間延べ 33 名 816 日の空床を発生しており、ショートステイで空床を埋めていったが、予算達成は出来なかった。退所から入所までの期間については、目標数値の平均 14 日以内での入所は達成できず、要因として、ご連絡をした際に他施設への入所等の理由が多かった。今後は選んで頂いた方に対し、こまめな状況調査を実施し、スムーズな入所に繋げていきたい。措置入所は期中 3 名の受け入れを行い「どんな依頼も受け入れる施設」を実現しています。

「個別支援と親身な対応の実現」においては、各居室担当が中心となり、その方の願いの実現、喜びそうな事を必ず月に1回以上は実現しています。また、外出支援においても、必ず月に1回以上は外気に触れる機会を設け、快適な施設生活を提供しています。

「チャレンジできる組織づくりと職場環境改善」については、積極的なDXを導入し、ご利用者、職員双方が、負担軽減できる環境を整えた。また、委員会、ケアプランの作成方法の進め方も変更し、専門性が優れた役割を実現できたと感じております。外部研修においては、中々職員の確保が難しく、外部研修に参加できていない為、次年度は積極的な学ぶ環境を確立し、「学べる施設」を再構築したいと思っております。

1.月別入所・退所・入院・退院数

月	前月末 在籍数	利用者数		入 所		退 所		入 院		末日 在籍数	利用延 日数	平均 利用 者数	前年度	
		男	女	男	女	男	女	男	女				延数	平均
4	103	17	87	0	3	0	0	1	2	104	3141	104.7	3194	106.5
5	104	17	87	0	1	1	2	0	1	104	3279	105.8	3253	104.9
6	104	18	86	1	3	0	2	0	4	104	3131	104.4	3176	105.9
7	104	18	87	0	1	0	0	0	4	105	3263	105.3	3302	106.5
8	105	18	86	1	1	1	2	0	4	104	3247	104.7	3270	105.5
9	104	17	89	0	2	0	1	1	0	106	3126	104.2	3215	107.2
10	106	17	82	1	2	1	6	0	6	99	3178	102.5	3335	107.6
11	99	18	87	0	5	0	2	0	2	105	3056	101.9	3196	106.5
12	105	18	84	0	2	0	3	0	2	102	3223	104	3167	102.2
1	102	18	84	0	1	0	3	0	1	102	3164	102.1	3098	99.9
2	102	20	85	2	2	0	2	0	2	105	2879	102.8	2938	101.3
3	105	19	88	0	3	1	1	0	2	107	3262	105.2	3160	101.9
合 計	103.6 (平均)	17.8% 男女割合	82.2%	5	26	4	24	2	30	104.0 (平均)	37949	104	38304	104.7

2.利用者区別割合

区市町村	男	女	計	前年
板橋区	7	48	55	55
北区	5	24	29	24

3.退所理由

項目	男	女	計	前年
死亡(施設内)	3	17	20	21
死亡(病院)	0	2	2	5

豊島区	6	12	18	21
文京区	1	2	3	6
他区(練馬区)	0	2	2	1
計	19	88	107	107

家庭復帰	0	0	0	0
他施設入所	0	1	1	2
入院	1	4	5	3
計	4	24	28	31

4.フロアー別介護度状況

フロア/介護度	1	2	3	4	5	計	前年
2F	2	2	1	6	6	17	16
3F	0	2	4	13	9	28	29
4F	1	1	4	15	10	31	30
5F	0	1	5	18	7	31	32
計	0	3	17	50	37	107	107

5.年齢及び男女構成比

年齢	男	女	計	前年
64～69	2	0	2	2
70～74	0	2	2	0
75～79	3	8	11	13
80～84	4	15	19	18
85～89	4	31	37	36
90～94	4	20	24	26
95～99	2	11	13	9
100～	0	1	1	3
計	19	88	107	99
最低年齢	63	70		—
最高年齢	99	101		—
平均年齢	84.4	87.5	87	87.4

6.介護度別状況と五年間の変化

	支	1	2	3	4	5	計	平均
R2 年度	0	0	3	23	49	32	107	4.0
R3 年度	0	0	2	19	53	33	107	4.1
R4 年度	0	0	3	21	39	36	99	4.1
R5 年度	0	0	3	17	50	37	107	4.1
R6 年度	0	3	6	14	52	32	107	4.0

7.認定調査実施状況

行政	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	前年
板橋区		1	0	1	2	2	0	0	1	1	2	1	1	12	23
北区		2	2	0	1	1	2	3	1	1	0	0	1	14	10
豊島区		0	3	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	5	13
文京区		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
練馬区		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計		3	5	1	5	3	2	3	2	2	2	1	2	31	46

8.ケース会議実施(施設介護サービス計画作成)

項目	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	前年
会議実施		4	4	4	4	4	4	2	3	3	2	2	2	42	47
ケース会議		20	20	20	24	21	22	11	15	17	17	20	11	218	231

(5)年間行事・地域交流

月	日	行事・地域交流	利用者	家族参加	ボランティア	職員
4	2 日	花見外出	105			17
5	26 日	春の遠足(川ログリーンセンター)	29			17
8	2 日	納涼祭	120	32	27	40

	9 日17日	施設内花火大会	35			4
9	16 日	敬老祝賀会	119	58	15	40
10	27 日	秋の遠足(浮間公園)	27			12
11	17 日	運動会	45			6
12	17 日	年忘れお楽しみ会	118	41	1	30
1	5 日	餅つき	115			4
2	3 日	豆まき	120			4
計			833	131	43	174

※今年度より飲食は無しだが、ご家族参加の行事を再開する

(6)クラブ活動

クラブ活動等参加状況

内容	回数	平均参加者数	講師・ボランティア	利用者負担
・書道	月 2 回	25 名程度	有	無
・月 2 回、講師を招き季節に合わせた題材を集中して完成させる。作品はフロア内掲示				
療育音楽	月 2 回	50 名程度	有	無
・音楽療法士が根拠を基に音楽を通して心身の健康やリラックス効果を生む新たな活動				
フラワーアレンジ	月 1 回	30 名程度	無	材料費500円
・季節に合わせた花々を、自分の好きな様に活かしている。作品は居室や食堂に飾られ季節感を味わう事ができる。				
喫茶	月 1 回	30 名程度	有	お菓子代実費
・数種類のケーキの中から好きなものを選ぶことができる。極刻みの方はゼリーを提供				
アロママッサージ	月 2 回	30 名程度	無	無
・アロマオイルを用いたマッサージを行い、リラックス効果を狙う				
塗り絵	月 1 回	50 名程度	無	無
・季節感を味わって頂くことや、色彩・鉛筆を持つ機会等、日常生活動作の維持としても活用している。				
カレンダークラブ	月 1 回	30 名程度	無	無
・指先を使い、自分の思い描いた物を形にしていき、翌月のカレンダーを作成				
若返り	月 4 回	20 名程度	無	無
・マニキュアや化粧を行い、おしゃれを体感して頂き、満足度を向上している。				
施設内お菓子販売	月 1 回	30 名程度	無	実費
・業者協力のもと、施設内でお菓子やお惣菜を自己選択、自己決定し購入している。				
散歩	月 5 回	10 名程度	無	無
・近隣まで外気に触れる機会を作る				
インドネシア文化	月 1 回	15 名程度	無	無
・インドネシア出身の職員による、インドネシアの言語、文化を伝えるクラブ				

今年度も『毎日クラブ』を目標に掲げ、ご利用者のやりたい事を活動へ転換してきました。

(7)各種委員会

<食事検討委員会>

管理栄養士がミールラウンドやご利用者・職員から意見をくみ取り、ミックス粥・軟飯の固さ、主菜のトロミ具合等の

微調整を実施、安全においしく召し上がって頂くように努めて参りました。その結果喫食率は 90.7%と目標数値を達成する事ができた。

また、ご利用者満足度向上の為、午後ティクラブの内容やクマバンクラブの内容をリニューアルし、食に対する楽しみが増え喜びの声も聞かれ、笑顔も多く見られています。

<口腔ケア委員会>

往診歯科 3 社の協力を得て、個別ニーズに合わせた歯科を選定し対応して参りました。ミールラウンドでは、多職種が専門性を活かした視点で観察し、嚥下状態、食事姿勢、食形態の変更、口腔ケア方法等を改善し、個別ケアを図ったことで、経口維持に努める事ができた。また、ご利用者の体調や嚥下状態により、どうしても必要量を召し上がれない方に対して、ハーフ食の基準を決め、栄養状態の確保に努めてまいりました。

<入浴検討委員会>

委員会では「入浴拒否改善計画書」を基に、入浴拒否される方を各フロア 1 名ピックアップし、拒否される原因を追究し、対策を講じてきました。その結果、4 名の方が拒否される要因を取り除き、快適な入浴を提供する事ができました。

また、9 月からは、入浴用の立位保持機を導入し、ご利用者、職員双方が安全に入浴できる環境に努めていきました。

<排泄委員会>

ユニチャームの協力を得ながら、衣類汚染される方の要因を追究し、尿量やオムツの当て方、交換頻度、陰洗方法等を改善し、快適なオムツ装着環境に努めていきました。その結果、衣類汚染される方が減少し、オムツ費も予算計上内に収める事ができた。

また、5 月より立ち上がり補助器を 3 台導入し、ご利用者、職員双方が安全で負担の少ないトイレ移乗を実現でき、なおかつトイレ内排泄も実現する事ができました。

<皮膚トラブル防止委員会>

委員会では褥瘡予防改善を各フロア 1 名以上ピックアップし、多職種が意見を募り、ベッド臥床時の除圧、座位時の姿勢改善、スライディングシートを使用する摩擦軽減、保湿等の改善を努め、再発防止を徹底的に取り組んでまいりました。その結果、褥瘡発生はありましたが、14 日間で治癒する事がほとんどでありました。来年度も予防策を中心に委員会を進め、褥瘡再発ゼロを目指していきたいと思っております。

<レクリエーション委員会>

『毎日クラブ』の充実を図る為、新たに「居酒屋クラブ」と「インドネシア文化クラブ」を追加し、ご利用者の満足度の向上を図りました。また、季節に合わせた行事についても、ご家族様がその様子をわかるように、フロア内に写真を掲示しています。今後も、施設内の生活が活性化できるように、目指して参ります。

<拘束ゼロ委員会>

拘束ゼロを継続しております。毎月委員会にて進捗を確認しております。年度初期に各ベッド柵、マットセンサー、離床センサーを再確認し、ご利用者が不自由のない環境も整えました。1 月 2 月には、接遇講師を招き、全職員に対して、接遇勉強会も実施しています。

<広報キャラバンメイト委員会>

舟渡包括と連携し、近隣の小学校、中学校に出向き、出前講座を実施しています。高齢者、認知症の理解を、地域を巻き込みながら実施しました。また、広報誌は2カ月に1度、ブログは週に1回アップし、日常的な様子をどなたでも閲覧できるようにしています。

<TQM委員会>

今年度もTQM責任者は全体のTQM連絡会にTQMの手法の理解を深めて参りました、特養は今年「特養における防水シーツの削減」をテーマにし、検証しましたが、途中より要因追及が行き詰まり、期中半ばで断念する形となりました。今回の内容は今後入所サービス会議内で追及し、ご利用者が快適な生活を継続できるようにしていきます。来年度は推進室メンバーも、委員会に参画し、継続的に委員会、活動を進めて参ります。

<労働安全対策委員会>

今年度もストレスチェックや、職員健康診断とともにメンタルヘルスに着目した。職場環境の安全衛生の面からも、職員の健康面からも大きな問題はありませんでした。今後も施設における職員の安全と健康が確保できるよう、快適な職場環境になるように委員会を進めて行きたいと思います。

<医療的ケア安全対策委員会>

医療的ケアを安全に行うためにも職員との連携が重要となっており、委員会、指導看護師の役割は重要です。特にたん吸引に関しては、介護職員の確実な施行がご利用者の安全のためにも最重要となるため、主として新人・新入職員4名に対しての指導に重きを置いての活動を行いました。

課題としては、今後さらに体制を整え、必要時に職員全員が確実に行えるよう、各フロアリーダーと連携を図り指導方法をさらに具体的に計画的に行えるよう、教育のシステム作りを再構築していく必要性があります。今後も介護・看護職員の連携・協働にてご利用者に対して提供するケアが安全に確実に行えるよう環境を整え、ご利用者が安心して医療的ケアが受けられるようにさらなる技術の向上を目指して委員会を活用していきたいと思います。

<感染症対策委員会>

新型コロナウイルス感染症対策マニュアルを講じて参りましたが、令和7年1月に4階フロアで利用者6名、職員2名のクラスターが発生しました。感染対策を講じて約10日間で鎮静されたが、ご利用者、ご家族、関係各所の皆様に多大なるご心配を掛ける形となり、改めて感染の脅威を感じました。

<リスクマネジメント委員会> 委員長 小西 誠之

今年度のレベル3以上の事故は6件(転倒・転落による骨折事故)で、前年比-4件でした。骨折事故に対して、職員による思い込み等が原因となっており、「大丈夫は大丈夫ではない」という意識を持つようにしています。また、防災については、年2回の防災訓練を実施しておりますが、BCPのマニュアル作成、災害初動時のフローチャートを作成し、災害時に落ち着いて行動できる環境を整備しています。

○事故発生件数

所属部署	2F	3F	4F	5F	計
事故内容	件数	件数	件数	件数	件数
転倒	11	21	20	10	62
転落	10	13	14	14	51

剥離・出血	3	8	6	17	34
誤嚥	0	1	0	0	1
異食	1	3	3	1	8
破損・紛失	0	9	1	0	10
服薬関係	4	14	2	9	29
離所・無断外出	0	0	1	0	1
忘れ物	1	2	1	0	4
内出血・打撲	17	15	2	23	57
加害行為	0	0	0	0	0
訪問忘れ	0	0	0	0	0
連絡ミス	0	0	0	0	0
配膳ミス	0	0	0	0	0
異物混入	0	0	0	0	0
発注ミス	0	0	0	0	0
その他	0	1	3	4	8
合計	47	87	53	78	265

○インシデント発生件数

所属部署	2F	3F	4F	5F	計
介護詳細	件数	件数	件数	件数	件数
異食	0	0	0	1	1
離所	1	0	0	1	2
転倒	0	1	0	3	4
転落	0	0	0	1	1
誤嚥・誤飲	1	0	0	0	1
与薬	5	7	8	7	27
その他	3	1	9	4	17
合計	10	9	17	17	53

(8) 施設内研修

月	内 容	担 当 者
4	事業計画・法令順守・倫理・ハラスメントについて	施設長
	介護スタッフに必要な倫理～基本とポイントをおさえよう～	学研介護サポート
	新人研修プログラム	各部門長
5	出来ていますか？情報・プライバシーの保護	学研介護サポート
6	感染対策(動画)) やりがい・働きがいのある職場づくり(精神的ケア)	学研介護サポート
7	施設におけるリスクマネジメント～安全管理のポイントと事故防止策～	学研介護サポート

8	みんなで知りたい医療と介護の連携	学研介護サポート
9	介護職員一人一人が考える災害対策の基礎(BCP)	学研介護サポート
10	虐待・身体拘束をなくすために	学研介護サポート
	事業計画中間報告会	施設長
11	管理者が考えたいおきたい緊急時の対応	学研介護サポート
12	介護現場で気をつけたい感染管理	学研介護サポート
1	介護職員のための看取り介護	学研介護サポート
2	介護現場の接遇・マナー～利用者・家族に伝わるかかわり方～(身体拘束・虐待)	学研介護サポート
3	事故発生時の対応と再発防止・わかる介護施設のBCP	学研介護サポート

学研介護サポートへの参加率100%標準化を目的とし、施設内勉強会の頻度は最小限と致しました。人員不足の中、業務と学びのバランスを考えて実施することで、e-ラーニングは定着したと思われます。来年度には職員一人一人が学びたい、深めたい外部研修に参加する事を積極的に進めていきたい。

(9) 令和6年度実習生受け入れ状況

介護基礎実習	学校名	延べ人数	実習日数
介護職員実務者研修	都立中央・城北職業能力開発センター	5名	9日間
介護福祉士	日本福祉教育専門学校	1名	15日間
	首都医校	2名	29日間
	都立北桜高校	6名	60日間
	文京学院大学	4名	94日間
栄養士実習	東京医療保健大学	2名	10日間
	東京家政大学	2名	10日間
看護師施設実習	帝京高等看護学院	10名	30日間

今年度も、根拠ある介護を基に実践を通じた実習内容展開していきました。実習生、学校側からも高評価を受けております。

(2)ケアポート板橋(ショートステイ)

令和6年度は昨年度まで積み上げてきた信頼を継続するとともに、どんな方でも受け入れるケアの充実と個別支援を柔軟に対応できるショートステイを目指してまいりました。

運営面では年度初めより稼働は好調で、誠実に取り組んできた結果が多方面に広がり、「ケアポート板橋を利用したい」という声を聞く機会が非常に多く、1年通して安定した稼働を維持することができました。稼働率103%、稼働日平均15.6人、平均在籍数13.9人でした。

昨年度同様、個別支援に関してもご利用者、ご家族より利用中に行いたい事、やって欲しい事などを伺い、自費のクラブ(フラワーアレンジメント、ボラ喫茶等)への参加や、午前入所、午後退所、日曜日送迎等を積極的に行うとともに、個別の外出も行うことができました。

また、介護職員、看護職員と協力しながら医療行為(胃ろう、痰吸引)が必要な方の受け入れも、例年に比べ多く受け入れることができました。

介護度別利用実績

<実利用者数>

月/介護度	予防	介1	介2	介3	介4	介5	送迎利用者数	合計	前年度合計
4	0	1	10	14	12	10	87	47	45
5	0	1	11	12	13	9	88	46	46
6	0	1	8	13	14	10	88	46	45
7	0	1	7	14	12	11	77	45	48
8	0	1	9	12	8	11	78	41	42
9	0	2	7	13	8	11	74	41	41
10	0	2	7	14	10	12	92	45	45
11	0	3	6	13	11	13	80	46	44
12	0	2	7	13	14	10	95	46	49
1	0	3	6	13	10	8	66	40	42
2	0	0	6	13	9	11	76	39	46
3	0	0	7	13	10	13	85	43	44
合計	0	17	91	157	131	129	986	525	537

<延べ利用日数>

月/介護度	予防	介1	介2	介3	介4	介5	合計	1日平均	空床利用	利用率	前年度	
											合計	1日平均
4	0	8	53	168	140	112	481	16	6	106%	483	16.1
5	0	5	48	160	176	93	482	15.5	2	103%	509	16.4
6	0	5	44	152	182	112	495	16.5	13	110%	441	14.7
7	0	8	34	143	164	132	481	15.5	8	103%	488	15.7
8	0	8	47	143	123	167	488	15.7	2	105%	467	15.1
9	0	8	39	147	110	149	453	15.1	4	101%	471	15.7
10	0	11	32	133	143	147	466	15	0	100%	495	16
11	0	16	29	134	126	160	465	15.5	5	103%	475	15.8
12	0	7	48	152	152	149	508	16.4	7	109%	504	16.3
1	0	15	29	139	125	140	448	14.5	0	97%	474	15.3
2	0	0	50	149	102	139	440	15.7	5	105%	461	15.9

3	0	0	36	157	124	161	478	15.4	0	103%	455	14.7
合計	0	91	489	1,777	1,667	1,661	5,685	15.6	52	104%	5723	15.6
利用率	0	2%	9%	31%	29%	29%					100%	—

(3)看護部

令和6年度は、これまでの感染症対策を継続しつつ、これまでの経験から、高齢者にとって様々な体調変化からその後の体力回復に大きな影響を及ぼすことを常に考え、施設でできる治療をはじめ、対策対応を講じてきましたが、今年度は入院治療が必要なご利用者が多く、長期入院の方、入退院を繰り返す方、施設復帰困難の方がいらっしゃる状況でした。その中でも、経口摂取が難しいご利用者が慣れ親しんだ施設戻り、徐々に回復したことはその人考えた個別ケアの結果だと思ふことができました。

退所者は28名。そのうち施設で20名の方をお看取りさせて頂き、最期まで施設での生活が穏やかに安心して過ごせるように、ご家族と話し合いながら取り組ませていただきました。

今年度の取り組みとして、アロマケアを開始。1名だった技術認定者も3名に増え定着。ご利用者のリラクゼーション、浮腫緩和や拘縮緩和に向けての継続して行ってきました。

今後も、感染症対策対応を継続し、施設だからこそできるケアを中心に、医師・介護職、他部署と連携を図り、ご利用者が安心して笑顔になれる生活が送れるよう施設看護としての役割が果たせるように努めてまいります。

■入院状況

病名	人数
胆のう炎	4
肺炎	4
心不全	3
胆管炎	3
大腿骨転子部骨折	3
大腿骨頸部骨折	1
尿路感染症	1
肛門周囲膿瘍	1
急性膵炎	1
ペースメーカー交換	1
尿管ステント交換	1
化膿性肩周囲炎	1
けいれん発作疑い	1
低アルブミン血症	1
誤嚥性肺炎	1
上行結腸憩室炎	1
外傷性頭蓋内出血	1
脱水	1
仙骨部褥瘡	1
壊死性筋膜炎	1

■死亡人数・看取り状況

病名	人数
老衰	20
合計	20

■退所者内訳

退所者人数	28
・施設内 ・入院退所 ・転居	20 7 1
看取り人数	20
看取り加算取得	19
看取り率	95%

入院延べ日数	817
月平均	68.1

小腸炎	1
腸閉塞	1
合計	34

■施設内診療・外来受診状況

《施設内》 (月平均延人数)

内科	32.5
精神科	31.3
歯科	117.8

《予防接種》 (人数)

インフルエンザワクチン	110
-------------	-----

(特養、GH 含)

《外来》 (月平均延人数)

内科	26.1
血液透析	5.3
整形外科	2.8
耳鼻科	1.6
脳神経外科	1.1
泌尿器科	0.7
皮膚科	0.7
ER	0.7
眼科	0.3
脳神経内科	0.3
血管外科	0.3
精神科	0.2
脊椎外科	0.1
入所時健診	2.7
お誕生日健診	7.3

■その他 (人数)

経管栄養(胃ろう)	1
未使用者	0
経管栄養(鼻腔カテーテル)	0
経管栄養(胃ろう) SS	1

(月平均延人数)

リハビリ	114.6
点滴	1.5
血液検査	3.4
浣腸(特養/SS)	11.5/8.4
排便(特養・SS)	42.7/2.4
インスリン(特養/SS)	12.8/4.5
血糖測定(特養/SS)	1.6/0
褥瘡	3.5
14日間重点期間改善	3.3
在宅酸素(特養/SS)	38.7/0.7
吸引(必要時)	5.0

(4)栄養課

管理栄養士 三浦 ルミ

人員不足、コロナ禍等の感染症で、思うように食事の提供ができない年が続きましたが、令和6年度は、選択食、職員食を予定通り提供することができました。新しい取り組みとして、舟渡デイサービスで毎月イベント食をおこないました。デイ職員と協力し、ご利用者にご参加いただき、クッキーやクレープ作り、ラーメンのスープをその場で選んでいただく等、担当職員の個性を活かした様々なイベントをおこないました。残菜調査は例年通り年4回おこない、全ての回で80%以上の喫食率となりました。物価高騰が続いており、特に米の価格は大幅に値上がりしました。給食費を上げていただきましたが、取引業者に情報収集しながら、味・質は落とさず、栄養量も変わらず提供する努力をしました。以前から取り組んでいた食形態の見直しについては、極刻み食を見直しすることができました。

栄養管理につきましては、多職種と協働し栄養強化加算を新しく算定開始しました。ミールラウンドやカンファレンス、関係する会議に参加し、個々人に合わせた対応を継続できました。栄養課の人員に関しましては、2名の退職者がありましたが、新しい仲間も迎えました。個別に合わせた指導とサポートをおこなっています。積極的にご利用者を訪問し、「顔が見える食事作り」と、美味しく、楽しみもあって笑顔になれる、一人一人に合った食事・栄養の提供を継続してまいります。

□食事の提供数（入所施設系）

月/項目	稼動日	特養	糖尿病食	経腸栄養	ショート	SS デイ入退	職員	合計	前年度
4	30	8941	450	13	1230	18	276	10928	10518
5	31	9157	495	62	1236	14	296	11260	10299
6	30	8709	542	60	1272	15	301	10899	10004
7	31	9125	552	62	1243	15	309	11306	11235
8	31	8932	684	62	1274	13	305	11270	11217
9	30	8573	630	60	1144	13	341	10761	10543
10	31	8679	607	62	1179	13	326	10866	11218
11	30	8445	680	1	1180	14	291	10611	10950
12	31	9061	617	0	1303	11	282	11274	11051
1	31	8809	651	0	1182	10	265	10917	10786
2	28	7990	588	0	1145	9	264	9996	10386
3	31	9097	651	0	1193	13	293	11247	10825
合計	単位：食数	105518	7147	382	14581	158	3549	131335	129032
1日平均	365	289	20	1	40	0.4	10	360	353
1食平均	3	96	7	0.3	13	0.1	3	120	118

□食事の提供数（在宅施設系）

月/項目	稼動日	舟渡	東坂下	その他(舟)	その他(坂)	合計	前年度
4	26	1237	214	0	0	1451	1260
5	25	1204	201	0	0	1405	1057
6	25	1173	190	0	0	1363	1267

7	27	1248	225	0	0	1473	1230
8	27	1150	211	0	0	1361	1246
9	25	1044	189	0	0	1233	1232
10	27	1177	209	0	0	1386	1247
11	26	1105	206	0	0	1311	1232
12	24	1022	187	0	0	1209	1304
1	24	957	185	0	0	1142	1330
2	24	933	178	0	0	1111	1370
3	24	1069	198	0	0	1267	1465
合計	単位：食数	13319	2393	0	0	15712	15247
1日平均	304	44	8	0	0	52	50
1食平均	1	44	8	0	0	52	50

□手作りおやつ（食数）

月	おやつ名	特養	舟デイ	東デイ	計	前年		計
4/12. 14. 18	杏仁豆腐 イチゴムース	122	95	0	217	4月	杏仁豆腐	82
5/1. 5. 11	鯉のぼりクレープ クッキー	117	96	0	213	5月	りんご蒸しパン	43
6/2. 15. 25	いちごトライフル クッキー	117	97	0	214	6月	ティラミスカナッペ	87
7/3. 21	天の川ミルクプリン 牛乳寒天あんみつ	119	47	0	166	7月	わらび餅	95
8/11. 12	冷やし汁粉	117	42	0	159	8月	チーズ蒸しケーキ	45
9/5. 8. 26	桃の蒸しパン クリームソーダ	119	81	0	200	9月	白玉団子	41
10/10. 20. 28	かぼちゃババロア クレープ	113	90	0	203	10月	キャラメルプリン	101
11/6. 10. 26	モンブラン さつま芋蒸しパン	113	84	0	197	11月	ココアケーキ かぼちゃプリン	312
12/2. 8. 16	お汁粉 シュトーレン	120	90	0	210	12月	水ようかん (栗) さつま芋蒸しパン	312
1/5. 7. 19. 23	餅つき 水ようかん スイートポテト	198	82	0	280	1月	餅つき 杏子ゼリー	215
2/4. 8. 9	焼き芋 チョコフォンデュ	117	78	0	195	2月	焼き芋 ほうじ茶プリ	420

	ブラウニー						ン イチゴケーキ チョコマフィン	
3/5.9.13.31	水ようかん クレームダンジュ いちごババロア 桜もち クリームパン	120	156	0	276	3月	水ようかん(白 あん) 焼き芋	204
計		1492	1038	0	2530	計		1957

□にぎり寿司

月	特養	舟デイ	計	前年計	特養	舟デイ
10	0	46	46	157	108	49
11	0	35	35	154	107	47
12	0	45	45	143	99	44
1	113	38	151	146	100	46
2	119	40	159	147	104	43
3	120	42	162	147	101	46
計	352	246	598	894	619	275

※にぎり寿司は1人前6カン ※生ものの提供は10月から3月

□選択食実施回数・メニュー・特養

月	回数	選択メニュー	食数	計	前年計
4月	1回	うな重	96	117	116
		サイコロステーキ	21		
5月	1回	スイカ	35	116	中止
		メロン	81		
6月	1回	ごま豆腐	74	118	中止
		ミルク豆腐	44		
7月	1回	豚肉生姜焼き	60	117	中止
		ポークチャップ	57		
8月	1回	いなり寿司	68	114	中止
		太巻き	46		
9月	1回	ハンバーグおろしソース	56	113	中止
		ハンバーグデミソース	57		

□選択食実施回数・メニュー・通所(舟渡)

月	回数	選択メニュー	食数	計	前年計
4月	1回	うな重	35	39	43
		サイコロステーキ	4		
5月	1回	スイカ	5	37	中止
		メロン	32		
6月	1回	ごま豆腐	21	36	中止
		ミルク豆腐	15		
7月	1回 1回	豚肉生姜焼き	19	38	中止
		ポークチャップ	19		
8月	1回	いなり寿司	29	37	中止
		太巻き	8		
9月	1回	ハンバーグおろしソース	25	38	中止
		ハンバーグデミソース	13		

10月	1回	ロールパン	54	117	119
		ご飯	63		
11月	1回	牛丼	71	118	120
		豚丼	47		
12月	1回	サバの味噌煮	52	118	114
		鶏の味噌煮	66		
1月	1回	ビーフシチュー	66	115	113
		クリームシチュー	49		
2月	1回	オレンジ	41	118	116
		いちご	77		
3月	1回	白身魚フライ	52	116	108
		エビカツ	64		
計				139 7	806

10月	1回	ロールパン	25	41	48
		ご飯	16		
11月	1回	牛丼	34	46	44
		豚丼	12		
12月	0回			0	46
1月	1回	ビーフシチュー	23	36	51
		クリームシチュー	13		
2月	1回	オレンジ	14	35	46
		いちご	21		
3月	1回	白身魚フライ	26	54	52
		エビカツ	28		
計			437	330	

舟渡高齢者在宅サービスセンター

令和6年度、一般（ふじ・予防教室）に関しては、大規模型通所介護費Ⅰとして、年間実績平均848.4名・月平均

33.3名を達成すべく、ご利用者の“自己選択”と“自己決定”の促進に向けて、外部講師の受け入れを積極的に行い、役割・活動・運動に対して選択しやすい環境整備を整えました。業務体制では、東坂下通所との兼務業務及び、一体的な送迎が運用できるような体制を整える事ができました。

認知症対応型通所介護（ひまわり教室）に関しては、月平均10.0名を達成すべく、医療ニーズに毎時応える事ができる体制づくりや、認知症介護基礎研修、実践者研修の受講、東坂下通所との事例検討会を実施し、介護知識・技術向上を図りました。また、東坂下・舟渡一般と3つの事業所の特色を用いながら、その方にとって安心したサービス提供が図れるような体制を構築する事ができました。

1. 選択できる活動提供の体制 一般教室

選択活動29種類の毎時提供できる体制づくりとして、外部の活動講師（スケッター）を活用する事で、それぞれの活動に対して魅力を感じていただき、「〇〇してみたい」とご利用者が選択して活動実施ができる環境を創る事ができましたが、外部講師との受け入れ調整等がうまくいかなかったことや、日応対効果を得ることが難しく、安定した選択活動提供を行う事ができませんでした。

2. 職員育成 一般・認知

ストック機能活用により情報収集能力と情報共有能力の向上に役立てる事が出来ました。

また、オンデマンド研修をはじめ、認知症介護基礎研修、実践者研修、入浴研修、身体拘束・虐待研修BCP研修の開催により、全職員が知識及び技術向上に取り組みました。

3. 業務効率 通所全体

前年度に引き続き、東坂下通所との一体的なシフト編成により、双方の業務のムダ・ムラ・ムリをなくした業務

構築ができました。これにより、受け入れ制限の緩和や、安全且つ効率的な送迎運用が実現しました。

1. 介護度別(実利用者数)

月	稼働日	区分	要支1	要支2	予防計	介1	介2	介3	介4	介5	介護計	総合計	前年 予防計	前年 介護計
4	26	一般型+予防	8	10	18	28	42	18	7	4	99	117	23	96
		認知型+予防				0	5	6	10	13	34			28
5	23	一般型+予防	8	10	18	29	43	18	6	4	100	118	22	97
		認知型+予防					5	6	10	12	33			26
6	26	一般型+予防	8	7	15	27	43	18	8	5	101	116	20	100
		認知型+予防					5	6	9	12	32			28
7	27	一般型+予防	9	7	16	26	45	18	6	5	100	116	19	100
		認知型+予防					5	5	10	14	34			28
8	26	一般型+予防	9	7	16	25	43	19	5	4	96	112	19	98
		認知型+予防					3	5	9	15	32			30
9	26	一般型+予防	9	7	16	26	41	17	2	4	90	106	20	100
		認知型+予防					3	6	9	14	32			32
10	26	一般型+予防	7	8	15	27	42	19	3	4	95	110	19	105
		認知型+予防				1	3	7	8	14	33			29
11	26	一般型+予防	8	9	17	28	38	19	4	2	91	108	20	103
		認知型+予防				1	3	5	9	14	32			31
12	24	一般型+予防	8	9	17	29	36	20	3	0	88	105	20	99
		認知型+予防				2	3	5	8	14	32			27
1	24	一般型+予防	7	8	15	27	34	18	4	1	84	99	20	96
		認知型+予防				1	4	4	8	13	30			27
2	24	一般型+予防	9	10	19	27	31	16	5	1	80	99	21	95
		認知型+予防				3	4	5	7	13	32			22
3	27	一般型+予防	10	10	20	27	32	17	5	3	84	104	20	94
		認知型+予防				4	5	5	7	15	36			21
計	305	一般型+予防	100	102	202	326	470	217	58	37	1108	1310	243	1183
		認知型+予防				12	48	65	104	163	392			329

※一般型 定員 50 名、認知型定員 12 名

1-2 サービス別(加算取得)

月	稼働日	区分	入浴	リハⅠ ₁	リハⅠ ₂	リハⅡ
4		一般	485		604	75
		認知型+予防	265			
5		一般	477		564	76
		認知型+予防	254			
6		一般	461		554	72
		認知型+予防	264			

7		一般	501		589	74
		認知型+予防	271			
8		一般	464		555	71
		認知型+予防	237			
9		一般	420		539	69
		認知型+予防	216			
10		一般	471		577	71
		認知型+予防	242			
11		一般	447		527	71
		認知型+予防	234			
12		一般	438		480	70
		認知型+予防	220			
1		一般	411		453	65
		認知型+予防	197			
2		一般	388		410	59
		認知型+予防	203			
3		一般	432		484	65
		認知型+予防	229			
計		一般	5395		6336	838
		認知型+予防	2832			

2. 活動報告

【基本活動】

NO	活動名	頻度	活動内容
1	カラオケ倶楽部	毎日	第一興商よりリースしている機材を変更し、カラオケだけでなく、嚙下体操や脳トレなどの豊富なコンテンツを利用時間帯通して楽しんでいただけた。
2	リハビリ体操	毎日	全ご利用者対象体操。（民謡体操・太極拳体操・リズム体操等） 集団にならず、自席から実施可能。

【選択活動】

NO	活動名	頻度	活動内容
1	個人カレンダー作り	随時	毎月翌月のカレンダーを季節に合った図案で折り紙、パステル、ちぎり絵、ポスターカード等を使用し作成する。
2	屋内装飾	随時	季節に合わせた共同作品を作り掲示。色を塗るだけではなく、立体的な作品を混ぜることで、レベルに合わせた内容を展開することができる。
3	手工芸	随時	自宅にお持ち帰り頂けるような作品を中心に題材を準備。手先の器用な方に人気がある。
4	脳トレ	随時	個人ファイルを個々に準備し、計算・漢字・ナンプレ・組み合わせ・

			間違い探し等のプリントを行う。集団脳トレとして音読も新企画として実施。
5	編み物	随時	季節関係なく、長期的に作品を作り上げる。ご利用者が自主的に行う姿が多く見られた。
6	季節の塗り絵	随時	活動時間のみならず、空き時間を利用して作品作りを行う方が多く見られた。
7	趣味倶楽部	随時	オセロ 将棋 百人一首 トランプ かるた 花札 あやとり 囲碁 パズル 映画 知恵の輪の16種類の趣味活動を用意
8	裁縫	随時	布巾に刺し子をあしらったり、お手玉を作成したりと昔遊びの一環として実施する。
10	書道	随時	自主活動として教室内にブース展開。自主的に実施
11	水彩画	随時	花や風景等の下絵を筆と水を用いて濃淡をだしながら取り組む活動
12	大正琴	随時	大正琴を10台準備し、季節に合わせた楽曲を演奏する。活動の他に選択活動として自習の時間を作り、いつでも練習できる体制とした。
13	ピアノ	随時	卓上ピアノ10台準備する。ヘッドホンを使用することにより、自習することも可能とする。未経験者も積極的に参加され、人気の活動となる。
14	運動	随時	足漕ぎペダル フロアー歩行 握力測定 ダンベル 棒ストレッチの5種類の運動をブース展開によりいつでも実施可能

【固定活動】

NO	活動名	頻度	活動内容
1	墨絵倶楽部	毎月	講師による季節に合わせた内容の墨絵を実施。毎回味のある作品が生まれる。掲示し、1か月後には個々に作品を返却していく。 ※緊急事態宣言発令中は自習で個別に実施。
2	生け花倶楽部	月2回	講師の先生をお招きして生花を活ける。参加者は花器を購入する倶楽部活動。 ※緊急事態宣言発令中は中止。
3	料理倶楽部	毎月	人数を絞り、5階の会議室等を使用し昼食作りを行う。手続き記憶を利用。今期は厨房職員講師で昼食の副菜作りも行う。 ※緊急事態宣言発令中は中止。
4	おやつ作り	毎月	教室毎に内容を分けて作る。季節感のあるもの、ボリュームのあるもの等、様々な内容にチャレンジする。人気活動となる。 認知教室では、新たに挽きたてコーヒー作りも取り入れた。 ※緊急事態宣言発令中は中止。
5	パン教室	月2～3回	講師を招き一般教室対象に人数分のパンを厨房と連携しながら作り上げる。※緊急事態宣言発令中は中止。
6	フラワーアレンジメント	月1回	申込制の活動。お花代の原価のみ頂き、自分の好きなようにお花を活けていく。作り終えた作品は持ち帰ることが出来る。
7	ゲーム活動	毎月	ゲートボール、風船バレー、ビンゴ大会、輪投げ、ワリパニック、玉入れゲーム、百人一首、紙相撲、旗上げゲーム、卓上ゲーム等楽しみながら、手足・指・頭を使い、軽運動を行う。個別で取り組める内容にて実施。
8	手話コーラス	毎月	馴染みのある童謡・唱歌を基に手話へ置き換えて行う音楽療法。集まらず、自席での実施に変更した。
9	ハンドベル倶楽部	3日間/2～3ヵ月	ハンドベルセット10セット準備。季節の楽曲を人数制限なしで参加できるようにする。音が揃った時には達成感と連帯感が生まれる。自席での実施に変更した。

10	療育音楽	毎月	利用者さんに馴染みのある歌を歌う事で、季節感を味わい、昔を懐かしんで頂く。又タンバリン・鈴・カスタネット・ハルトベルを演奏することにより脳の活性化につなげるリクエスト曲も調査し反映させる。自席での実施に変更した。
11	誕生日会	毎月	利用者さんの誕生月に皆でお祝いをし、メッセージカード（写真入り）を贈呈する。お配りして、全員でビンゴ大会を楽しむ。
12	絵手紙倶楽部	毎月	講師による季節に合わせた内容の絵手紙を作成。切手を貼って身近な方へ送ることができる。
13	園芸倶楽部	3日間 /2～3 カ月	季節ごとに花・球根・芝生・野菜等、土いじりの機会を設ける。不定期ではあるが、人気のある活動となった。
14	有料手工芸	1回/3 カ月	完全申し込み制の材料費を頂く活動。干支に合わせた内容等、キットを使った活動。
15	茶道教室	毎月	講師を招き、作法を学ぶ。たてたお茶や茶菓子はおやつ代として徴収。
16	ワークショップ	2カ月 毎	手芸やアロマオイル作りなど、別途有償活動として新たに企画。
17	演芸鑑賞	毎月	コンサートや演芸などをスクーター受け入れにより実施。

3. 行事報告

月	行事名	場所	開催期間	参加述べ人数	ボランティア・他	行事内容
7	納涼祭	ふじ・ひまわり教室	7/26・27	57		納涼祭 盆踊り、模擬店等で夏祭りの雰囲気を楽しむ。また、職員の踊り（南中ソーラン節）を披露。
9	敬老会	ふじ・ひまわり教室	9/20	54		敬老会 健康と長寿を祝い、職員・ボランティアにてアトラクションや松花堂弁当を楽しむ。また、職員の踊り（パプリカ）を披露。
12	年忘れお楽しみ会	ふじ・ひまわり教室	12/24・25	111		zoomを使った音楽鑑賞会や職員のマジックショーを披露。
1	初詣	ふじ・ひまわり教室	1/10～15	302		北野神社へ初詣は中止し、施設内に鳥居や賽銭箱を設置。絵馬作り等も実施。
	新年餅つき大会	ふじ教室 ひまわり教室	1/5	54		午後に餅つき大会を行う。ついた餅とは別に栄養課からの汁粉を提供。

スクーター導入を図りながら基本・固定活動をはじめ 29 項目の選択活動の毎時実施ができました。

4. 事故報告

内容/月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
転倒	1	1			1		1			2	1		7
剥離・出血	1			1	1	2		1				1	7
異食							1						1
服薬関係					1		1		1				3
車両事故													
忘れ物	1								1	1		1	4
連絡ミス											1		1
その他（離所等）	1	1						1			1	1	5
合計	4	2		1	3	2	3	2	2	3	3	3	28

インシデント（気づき）報告件数

教室名/月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
ふじ教室	103	135	112	106	89	82	84	84	75	63	55	4	992
ひまわり教室	87	152	98	63	65	68	50	50	43	40	32	12	760
合計	190	287	210	169	154	150	134	134	118	103	87	16	1752

令和 6 年度は剥離と転倒事故が多くみられました。主に移乗時や入浴時における事故が見られたため、移乗方法をはじめ、安全な移動・移乗及び入浴介助に向けた体制を整えてまいります。

5. 実習生報告

養成校名/月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
志村学園													
帝京看護		4		2		4	2				4	1	17
職能板橋			3	2		1				4		4	14
北桜高校							2	2					4
合計		4	3	4		5	4	2		4	4	5	35

令和 6 年度は 35 名の受け入れ状況でした。受け入れ時、実習生には通所サービスの必要性等を熱心に学んでくださいました。また、通所主任が実習指指導者講習参加により資格取得したため、次年度も実習生の受け入れにあたって、教育体制の質向上に努め、充実した実習に臨んでもらえる事を目指してまいります。

舟渡ヘルパーステーション

令和6年度は、ICTへの取り組みを行って参りました。報告業務を貸与携帯のソフトから入力・送信する事により双方の効率化に繋がる結果となっており、時間の短縮化にも効果を出すことができました。R7年度に入りますが、複雑な記入やチェックを強いられる項目に関し、簡略できる様に変化させ、更に改善できる様に努めます。

ただ年度中に退職者も発生しており、施設内において兼務をして頂いたりして補って頂いている状況ではありません。人員については職員紹介規定の再アナウンスをはじめ、できる事は最大限に行っていく事を続けて参りたいと思っております。R7年度も引き続き、現在稼働している登録型ヘルパー・非常勤職員の離職防止に向け、更なる職場環境の改善や効率化に尽力して参りたいと思います。

年間訪問件数に関しては、目標13,720件に対し13,982件の実績となりました。振り替え率も目標25%に対し月平均30.8%となっております。

R7年度を迎え、現在の運営状況の土台を固め、改めて「親身な対応」を心がけ「舟渡ヘルパーステーションにお願いして良かった」と思ってもらえる様に、質の面においても更に向上できる様に務めて参ります。

令和6年度【重点施策・目標】1年後の姿

- ① スタッフ(生活支援ヘルパー含む)の増員により、年間総訪問件数13,720件を達成している。効率的な稼働を実践する為、空き状況を把握する(情報を常に更新・見える化)事で収入最大化を保っている。時間最短策としてICTを活用し効率よく報告業務などが行えている。
- ② 人材確保への取り組みとして、1)板橋区主催の就労相談会への継続的参加(抽選)。2)自事業所での「生活支援ヘルパー養成研修」の開催により新しい仲間が増えている。
- ③ 障害者総合支援法においても、毎月の目標件数を達成。ご本人や相談支援専門員からのご依頼に対して積極的な受け入れが出来ている。

<月別、サービス内容比率>

(上半期)・・訪問比率(%)

項目/月	4	5	6	7	8	9
身体介護	26.2	25.8	28.1	28.5	28.3	28.7
介護中心	12.8	12.1	12.3	12.3	12.7	12.3
生活中心	22.3	22.1	21.9	22.4	22.6	22.6
総合事業	28.4	28.7	28.0	27.6	28.8	27.0
障害サービス	7.9	9.4	7.6	7.4	6.3	8.4

(下半期)・・・訪問比率

項目/月	10	11	12	1	2	3
身体介護	26.7	27.6	29.4	29.1	28.7	29.8
介護中心	12.5	11.9	11.8	11.5	12.6	10.4
生活中心	24.9	24.7	23.6	25.4	24.5	23.9
総合事業	25.7	26.8	27.8	27.1	26.3	28.5
障害サービス	8.4	6.9	5.4	5.4	6.8	6.3

<ワンコインサービス実績>

弊社の介護保険サービスをご利用されてる方の限定サービスではありますが、好評により多くのご利用があります。

令和6年度にご依頼が多かった内容

1位・・・衣替え・衣類整理 18 件 2位・・・窓ふき 11 件 3位・・・壁・天井拭き 8 件

その他ご依頼があった内容例

換気扇掃除 ・ エアコンフィルター掃除 ・ カーテン付け替え ・ ベランダ掃除 等

<定例会>

月	回数	内容	
4 月	1	事業計画・緊急対応・自転車マナー	事務報告・ご利用者について(書面配布)
5 月	1	感染症について	事務報告・ご利用者について(書面配布)
6 月	1	認知症について	事務報告・ご利用者について(書面配布)
7 月	1	食中毒・脱水について	事務報告・ご利用者について(書面配布)
8 月	0	お盆休み	事務報告・ご利用者について(書面配布)
9 月	1	介護保険について	事務報告・ご利用者について(書面配布)
10 月	1	事業計画中間報告	事務報告・ご利用者について(書面配布)
11 月	1	接遇・虐待について	事務報告・ご利用者について(書面配布)
12 月	1	事故発生・再発防止について	事務報告・ご利用者について(書面配布)
1 月	1	緊急時について	事務報告・ご利用者について(書面配布)
2 月	1	プライバシーと個人情報について	事務報告・ご利用者について(書面配布)
3 月	1	法令遵守・倫理について	事務報告・ご利用者について(書面配布)

R6 年度においては集合研修形式で勉強会を開催する事ができております。

法定研修に加えて自転車マナー・DX(ライン活用)についても共有する事ができています。

<個別勉強会>

R6 年度に関しては、訪問介護員のキャリアに応じたグループごとに、その方たちのレベルに応じた内容を学んで頂く事を実施しています。(計 4 グループで順番制)

事故報告件数

内容/月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
転倒													
剥離・出血													
破損・紛失										2		1	3
服薬関係									1				1
訪問ミス													
忘れ物								1					1
その他								1			1		2
合計								2	1	2	1	1	7

インシデント報告件数

内容/月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
転倒													
剥離・出血													
破損・紛失													
服薬関係													
訪問ミス								1					1
忘れ物													
その他							1						1
合計							1	1					2

気付き件数

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
気付き件数	43	61	42	64	50	53	55	48	43	43	48	52	602

R6 年度は、気付きの数はしっかりと上がっていたのですが、レベル 0 のインシデント報告として計上が少なくなっています。大きな事故に繋がる事はなかったのですが、来年度は更にレベル 0 のインシデント報告の数を出せる様に仕組み作りが必要です。

かもめの家(グループホーム)

令和 6 年度は退所者 6 名、入所までの期間は平均 51 日(目標 1 週間以内)と昨年度と同様、入所までの平均期間は 1 ヶ月以上と退所に対して入所が追い付かない状況が続きました。年間の入院日数は 255 日(前年比+62 日)と増加、年間 16.6 名(SS 合算)と予算 17.5 名を下回る稼働で終わりました。

ご利用者支援としましては、再開した「メニュー決め」「買物」「調理」の家事援助支援を再開、また「出前」も再開する事が出来ましたが、定着まではもう一歩及ばず。次年度はこの 4 点を定着させ、継続性のあるご利用者支援を展開していきます。

今年度も全体会議開催が毎月実施出来ずに終えた為、こちらも毎月開催し、ご利用者支援に関する事、職場環境改善へ向けた取組等、活発な意見交換の場として運用していきます。

地域交流に関しては、毎年開催してきました「かもめマルシェ」は当初の目的を果たしたと判断し、今年は開催を見送りました。来年度は「こども食堂」とリンクし、地域の方々と共に何か形に出来ればと考えております。

1. 入所状況

項目	利用者数		入 所		退 所		末日	延べ 利用	1 日 平均	利用 率	稼働 日	利用 最大
月	男	女	男	女	男	女	在籍 数	人員 日数	(利用 人数)	(%)	(日)	(利用 人数)
4	1	16		1			17	510	17.0	94.4	30	540
5	1	16				2	17	527	17.0	94.4	31	558
6	1	16		1			17	513	17.1	95.0	30	540
7	1	16					17	527	17.0	94.4	31	558
8	1	15					16	481	15.5	86.2	31	558
9	1	14		1			15	461	15.4	85.4	30	540
10	1	15					16	495	16.0	88.7	31	558
11	1	16					17	510	17.0	94.4	30	540
12	1	15		1		2	16	510	16.5	91.4	31	558
1	2	14	1			1	16	532	17.2	95.3	31	558
2	2	14			1		16	448	15.4	88.9	28	504
3	2	14					16	496	16.0	84.1	31	558
合計/平均	1.3	15.1	1	4	1	5	16.3	6010	16.4	91.5	365	6570

※空床を利用する「ショートステイ」実績は延べ 44 名。GH と合算にて 16.6 名/日となる。

2. 退所理由

	入院	特養入所	老健入所	有料入所	GH入所	看取り	死亡	合計
男	1	0	0	0	0	0	0	1
女	3	2	0	0	0	0	0	5
合計	4	2	0	0	0	0	0	6

3. フロア別介護度状況

	介護度 1	介護度 2	介護度 3	介護度 4	介護度 5	計
2F	1	2	3	0	1	7
3F	2	2	0	3	2	9
合計	3	4	3	3	3	16

4. 年齢及び男女構成比

	65～69	70～74	75～79	80～84	85～89	90～94	95～99	100～	計	平均年齢
男	0	1	0	1	0	0	0	0	2	78.0
女	1	0	1	4	1	4	3	0	14	87.3
計	1	1	1	5	1	4	3	0	16	86.1

5. 事故発生件数

所属部署	2F			3F			合計		
事故内容	件数	%	前年比	件数	%	前年比	件数	%	前年比
転倒	12	29.5%	+1	9	20.5%	+3	21	50.0%	+4
転落	3	6.8%	+1	3	6.8%	+1	6	13.6%	+2
剥離・出血	0	0%	-2	0	0%	-2	0	0%	-4
誤嚥	0	0%	±0	0	0%	±0	0	0%	±0
異食	0	0%	-1	0	0%	±0	0	0%	-1
破損・紛失	0	0%	-1	0	0%	±0	0	0%	-1
服薬関係	4	9.1%	-5	5	11.4%	-4	9	20.5%	-9
内出血・打撲	1	2.3%	±0	0	0%	-1	1	2.3%	±0
加害行為	0	0%	-3	1	2.3%	±0	1	2.3%	-3
離所・無断外出	2	4.5	+2	0	0%	-1	2	4.5%	+1
その他	3	6.8%	+3	1	2.3%	-3	4	9.1%	±0
合計	25	56.8%	-4	19	43.2%	-3	44	100%	-7

インシデント件数

	転倒	転落	剥離	誤嚥	異食	破損	服薬	内出血	加害	離所	その他	合計
2F	0	0	0	0	0	0	2	0	0	1	1	4
3F	0	1	0	0	0	0	2	0	0	1	5	9

今年度のレベル3以上の事故は3件(転倒等による骨折事故)で、前年比+2件でした。原因としては対策をしており大丈夫だろう、転ばないだろうという思い込みの部分が必要な割合を占めておりますので、自立支援は大切にしながらも定期的な対策の見直しや、日頃の些細な「気付き」を「事故に繋がる可能性がある」と捉え、インシデントとして挙げ、職員がリスクを共有する意識と速やかな対策を講じられるようにしていきます。

7. 運営推進会議

	開催日	開催場所	内容
第1回	5/28	4F 多目的室	・事故報告(4月・5月) ・令和5年度「事業報告」について ・令和6年度「事業計画」について ・第三者評価FB ・入居者状況 ・今後の予定
第2回	7/23	4F 多目的室	・事故報告(6月・7月) ・入居者状況 ・取り組みについて ・今後の予定
第3回	9/24	4F 多目的室	・事故報告(8月・9月) ・入居者状況 ・取り組みについて ・今後の予定
第4回	11/26	4F 多目的室	・事故報告(10月・11月) ・入居者状況 ・取り組みについて ・今後の予定
第5回	1/23	4F 多目的室	・事故報告(12月・1月) ・入居者状況 ・取り組みについて ・今後の予定
第6回	3/25	4F 多目的室	・事故報告(2月・3月) ・入居者状況 ・令和7年度「事業計画」について ・令和7年度「東坂下事業所組織図」について ・第三者評価FB ・今後の予定

【運営推進会議委員】

板橋区職員	区職員
地域包括支援センター	志村坂上おとしより相談センター 所長
入居者代表	ご利用者
ご家族様代表	2階 1名 3階 1名
地域代表	志村五桜町会 町会長
民生委員代表	1名
施設代表	所長、管理者、フロアリーダー

東坂下高齢者在宅サービスセンター

令和6年度は「活動の見直し」による質の向上・環境整備で予算達成を目指しました。

① 選ばれるデイとして年間平均稼働日実績 15 人/日を達成している。

新規月/4. 1名 臨時月/4.08 件 入浴月/290 件以上

② 人件費、経費を削減しつつ安定した職員体制でケアを提供、人材育成の両立ができています。

(職員の勤続意欲 4.0 以上・仕事のやりがい 4.0 以上・職場の雰囲気 4.0 以上)

③ 新しい地域事業に参画しており、地域共生の一助を担う拠点となっている。

① 結果として年間 4630 名(予算 4580) 1 日平均 15.1 名(予算 15)と念願の予算達成となりました。

詳細は利用状況でお伝えしますが、年間予算に対し+50 と前年比 109 増加できた事から

ドア to 対応、全利用日入浴可、調理活動、洗濯サービスがニーズに合っている事が実証されました。

ただし大幅な利用増に現在の体制で追いつけず「活動の見直し」は未着手の部分が多い事は否めません。

② 上記のドア to 対応や 5-6 便を舟渡職員が担っていましたが更なる効率化として

東坂下職員が舟渡送迎と 5-6 便を行う「舟坂便」を実践。舟渡のドライバーの負担軽減と時間の短縮化が出来ています。更に次年度の目標として「全員舟渡出勤」の準備にもつながっています。

③ 地域交流に関しては、子ども食堂はお弁当配布のスタイルは変わらず、年 12 回実施とし、

今期間はイベントの追加や一般ボランティアの拡充もでき飛躍の年といえました。

次年度は「会食形式への回帰」を行うため年度末に調整を済ませております。

1. 利用状況

R6 年度介護度別(実利用者数)													
月	稼働日	新規	終了	臨時	要介 1	要介 2	要介 3	要介 4	要介 5	介護計	予算	入浴	機能
4	26	3	2	2	123	74	98	81	31	407	372	330	
5	25	1	1	7	83	82	85	85	29	364	368	295	
6	25	6	3	10	81	87	84	72	29	353	373	270	
7	27	4	3	12	89	113	77	90	38	407	407	301	
8	27	3	1	9	64	120	92	79	39	394	407	285	
9	25	2	1	6	49	97	99	79	34	358	378	276	
10	27	3	1	8	75	118	130	76	42	441	407	326	
11	26	0	2	5	72	123	112	91	32	430	387	329	
12	24	0	1	2	58	109	113	70	30	380	368	287	
1	24	3	4	8	65	105	101	56	26	353	368	261	
2	24	2	3	5	74	101	77	82	32	366	363	268	
3	26	2	2	4	74	127	84	66	26	377	392	259	
合計	306	30	21	78	907	1256	1152	927	388	4630	4580	3197	/
前年度		45	22	58	1430	654	1150	716	147	4097	3552	3413	/

総評の通り予算達成となっている。(予算対比+50)

前年度よりも新規数は少ないですが看護連携と stock での情報共有で 12 月まで体調不良や入院等の長期離脱者が少なかった事、地道な追加利用(前年度+20)が成功の要因と考えます。

半面、入浴実施数は 12 月以降も大幅な減少で昨年比-29%低減し利用毎入浴実践としては大きな課題といえます。

尚、機能訓練については生活リハビリを利用毎/全員に加算なしで実施しています。

2.活動報告について

【ボランティア】

NO	活動名	活動頻度	活動内容
1	落語ボラ	毎月	舟渡スケッターの横展開。
2	青い鳥	毎月	月 1 回土曜日(不定)にお招きして、踊り・歌・手品・詩吟・大正琴を披露。今年度も年間を通し休止。

※活動について

一般デイとして 活動の「半自己決定・自己選択性」を展開。

予定表には一定の記載をしてあるものの基本的な活動が月初から月末まで好きな時に行えるシステム。

【カルチャー活動①】

NO	活動名	活動月	活動内容
1	手工芸	通年	季節感をテーマにした手工芸を実施しました。
2	カレンダー作り	毎月	季節のイラストを毎月用意し、塗り絵を行いながら日付を記入して製作する定番の活動です。 週 1 回の利用で完成できない方も継続して行えるよう余暇時間でも引き続き行える仕組み。
3	園芸	通年	季節の花を植え、ウッドデッキスペースにてご利用者が水やりを実施しています。夏は野菜を収穫して夏野菜ピザで使用。季節感を味わって頂いています。
4	屋内装飾	毎月	フロアー内の天井・壁にそれぞれ季節感溢れる装飾を掲示。また、巨大な壁紙の装飾を実施。 「優しいケア」のメッセージも盛り込まれています。
5	季節の塗り絵	毎月	個々の作業レベルに分け塗り絵を提供。塗った作品をフロアーに展示。
6	書道	毎月	四季に沿ったテーマで書道の見本を用意し毎月実施。 6 月に全国書画コンクールに出展し受賞者は写真付きカラーコピーの賞状を飾り毎日新鮮な気持ちで輝きの 1 日に寄与しています。好評の「ペン習字」も継続。

【カルチャー活動②】

NO	活動名	活動月	活動内容
1	坂下クッキング	毎月	毎月火・木・土曜日に実施。自分たちで昼食を作る事での楽しさとリハビリ効果が狙いの活動です。
2	手作りパン工房	毎月	毎月火・木・土曜日に実施。 パンの内容決めから作る作業までを実施。 講師が臨時来所の際は上記曜日以外も開催。

【リハビリ活動】

NO	活動名	活動月	活動内容
1	スポーツレク	毎月	「輪投げ」「ボウリング」「風船バレー」等、身体を使いながら集団で取り組むプログラムを展開。
2	レク体操倶楽部	毎日	タオル体操・ボール体操・口腔体操をメインに実施。口腔外ケア要素は感染防止の為簡素化して実践しました。
3	脳トレ	毎月	計算問題・迷路・熟語等多彩なジャンルから個々が自由に取り組んでくださいました。答え合わせも行いながら、ご利用者の自信にも繋がる仕組みがあります。

【音楽活動】

NO	活動名	活動月	活動内容
1	季節の歌	毎月	季節に応じた歌集を個々に用意し、アカペラで唄う活動。発声の練習にも効果。今年度はアクリル板設置、マスク着用で実施。
2	療育音楽	毎月	楽器を使い、発語訓練を導入しながら音楽を皆で楽しむ活動展開。ハンドベルに注力しております。また今期は聴覚障害のご利用者視界による手話コーラスも導入しています。

【自由活動】

NO	活動名	活動月	活動内容
1	シネマ坂下	毎月	映画館と似た雰囲気にて白壁に映像を写しながら、ご利用者の希望に沿ったタイトルを放映。「昭和歌謡シリーズ」が人気タイトルとなりました。
2	防災訓練	毎月	火災時訓練や地震時訓練を中心に実施。地震や火災・洪水の想定も実施。
3	外出	3月～5月 9月～11月	今期間、午後入浴・人員不足のため未実施。
4	読書	毎月	主に余暇時間に本棚から好きな本を選んで読んで頂きました。
5	趣味倶楽部	毎月	かるたやトランプ等のテーブルで展開できる活動を実施。特にかるたはご利用者と1ヶ月かけて文章、デザイン全て手作りで人気があり、お正月だけではなく現在も継続して行っています。

行事

月	行事名	開催期間	参加延べ人数	ご家族参加人数	ボラ	行事内容
5	出前食					中止

6	運動会					スポーツレク週間で代替とする。
7	納涼祭	7/11(木)・	18 名			デイ単独
8	流し そうめん		/		/	調理活動 麺メニュー週間で代替。
9	敬老会	9/16(月)	14名		4	健康と長寿を祝い、 鈴弘会 4 名様来所。
10	バスハイク		/	/	/	中止
11	出前食					中止
12	年忘れ会	12/19(木)	17 名			職員による出し物。 演芸、歌。昼食は特別メニュー。
1	餅つき大 会	1/14(火)	15 名			餅は飾り用で使用。 おやつは白玉汁粉で代替。
1 2	初詣					中止。
	節分会					デイフロアにて実施
3	花見外出					中止。

3.令和 5 年度 事故報告総括

事故報告

内容/月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	昨年
転倒	0	0	2	0	0	0	1	0	1	0	0	0	4	3
離所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
忘れ物	0	0	0	2	0	1	1	0	0	2	0	0	6	2
服薬	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	2
連絡ミス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0
車両関連	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
加害行為	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
異物混入	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	3
合計件数	0	0	2	2	0	1	2	1	2	2	1	0	13	9

インシデント

内容/月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	昨年
転倒	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
離所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
忘れ物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
服薬	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
連絡ミス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
車両関連	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
加害行為	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
異食	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0
合計件数	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	7

今期間、転倒 4 件と忘れ物関連 6 件と大幅に増えており稼働増の影響は垣間見える。

但し環境整備の対策や stock 使用の連携が功を奏し後半は事故は低減できている。

9 月のインシデントは義歯の紛失、例年の反省になっていた「インシデントの提出数が少ない」が再燃しており次年度はインシデント 100 件の目標値になっており部門職員に再度意識付して行く。

4. 運営推進会議開催について

- ・当事業所運営推進会議を年2回実施。基本、GHと日程を共同開催となります。

運営推進会議

	開催日	開催場所	内容
第1回	9 月開催 (R6.9.26)	書面配布	・事業計画、中間報告。 ・地域活動開始のアナウンスと協力依頼。 ・事故報告について(上期) ・今後の予定について(ジョブローテ)
第2回	3 月開催 (R7.3.26)	書面配布	・令和5年度事業計画 ・令和 6 年度実績報告 ・地域活動の経過について ・その他(今後の予定)

【運営推進会議委員】

板橋区職員	区職員
地域包括支援センター	志村おとしより相談センター 吉田様
ご家族様代表	(現在代表不在)
地域代表	志村五桜町会 町会長 関根様
民生委員代表	森山様
施設代表	宇津木(法人施設長) 平田(事業所所長)、吉田(管理者)

5 地域向け事業について

お弁当配布」開催。(経営支援補助金対象)

開催日	曜日	内容	メニュー	利用数	ご利用者	ボラ	職員
4/18	木	お弁当	三色丼	66	0	2	8
5/16	木	お弁当	オムライス	66	0	3	6
6/20	木	お弁当	カレー	67	特養2	3	8
7/19	木	お弁当	豚丼	63	特養1GH1	1	7
8/15	木	お弁当	煮込みハンバーグ	41	0	3	7
9/19	木	お弁当	照り焼き丼	70	0	3	9
10/17	木	お弁当	選択おにぎり	70	特養1	2	9
11/21	木	お弁当	栗ご飯 鳥の甘煮	65	特養1	4	8
12/19	木	お弁当	クリスマスチキン	60		2	8
1/23	木	お弁当	ガパオライス	67		3	8
2/20	木	お弁当	ビーフシチュー	55	0	3	7
3/9	木	お弁当	ボロネーゼ	55	0	4	9
計12回				745	6	33	94

※次年度より本来のこども食堂に回帰するため「会食形式」に変更。

板橋区舟渡おとしより相談センター（地域包括支援センター）

1. 令和 6 年度 事業の動向

令和5年度同様に「地域包括ケアシステムの構築」に向けて、当センター職員のチーム力の向上を図り、地域のコーディネートを意識し、“地域の支え合い”活動に尽力した。そして多くの住民、サービス提供事業者の方々のご協力を頂き、“協働”による事業を広く展開した。

今後、拡大しつつある“地域づくり”に貢献できるように、当センターの業務効率化を一層増進し、職員のやりがいをもつ職場環境を整え、事業継続を図りたい。

2. 相談件数

(件数)		令和 6 年度	令和 5 年度	前年比
来所		138	141	-3
電話		1054	1478	-424
訪問	給付管理対象者	2278	282	-282
	給付管理対象者外	682	-141	141
	小計	2960	141	114
上記以外の方法		72	152	-80
合計		7184	7409	-225

3. 活動実績推移 (2017～2024 年度)

名称	高齢者人口		介護予防実績	
	65 才以上	75 才以上	予防給付管理件数	月平均
R2 年度	8178	4320	4247	353
R3 年度	7927	4224	4471	373
R4 年度	7901	4432	4198	350
R5 年度	7856	4624	4225	352
R6 年度	7839	4689	4663	389
前年比	-17	65	438	37

4. 相談内容内訳

No.	項目名	令和 6 年度	令和 5 年度	前年比
1	介護保険制度	96	141	-45
2	介護保険要介護（要支援） 認定	598	890	-292
3	介護保険在宅サービス	1598	2074	-476
4	介護保険施設サービス	56	52	4
5	介護・福祉サービス	68	54	14

6	福祉用具・用品・住宅改修	370	337	33
7	みまもり支援サービス	228	272	-44
8	一般介護予防	50	47	3
9	総合事業	537	345	192
10	老人ホーム(介護保険外)	0	0	0
11	医療・保健	570	633	-63
12	就労・生きがい	10	6	4
13	経済	45	55	-10
14	住宅	39	50	-11
15	生活・家庭	319	700	-381
16	成年後見制度	20	17	3
17	やむをえない措置(老福法)	0	0	0
18	地域福祉権利擁護事業	3	12	-9
19	権利擁護関連その他	18	17	1
20	認知症相談	69	81	-12
21	虐待・緊急対応	47	40	7
22	消費者相談	4	6	-2
23	地域密着型サービス	1	154	-153
24	その他	90	0	90
合計(件数)		4836	5983	-1147

5. 地区ネットワーク会議

開催期間			参加人数
10月3日 13:30-14:45	高島平地域 センター1階	＜開催目標。地域包括支援センターだけでなく、“多職種協働”で“フレイル予防”の啓発に取り組めるような、仕組みづくり。	14名

6. 相談協力員研修

		テーマ	対象者	参加人数
10月23日14:30~15:45	蓮根ロータスホール	「相談面接」 (蓮根おとしより相談センターと合同)	民生児童委員	31名

7. 小地域ケア会議(舟渡おとしより相談センター主催)

開催日	時間	場所	事例テーマ	事例提出	出席数
-----	----	----	-------	------	-----

3月18日	14:00～15:30	新河岸2丁目団地集会所	妄想のある高齢者への対応	舟渡おとしより相談センター	19名
-------	-------------	-------------	--------------	---------------	-----

8. 包括的継続的ケアマネジメント

- ・ケアマネジャー支援・・・令和3年9月から「ケアレンジャー舟渡」の活動を開始。地域の介護支援専門員（主任介護支援専門員を含む）と協働で研修などの企画・運営を行う。（隔月1回）

開催日	時間	場所	テーマ	参加人数
7/16	14:00～16:00	高島平区民館 3F ホール	要支援者の災害対策について	計 46 名（ケアマネ、民生児童員）
11/15	14:00～16:00	高島平区民館 3F ホール	新河岸クリニック房野医師の講義 医療連携、ケアマネ交流会	計 34 名（ケアマネ）

9. 認知症への支援

- ・認知症サポーター養成講座

<小中学校>

開催日	対象	人数
11/22	志村五中 9 年生	106 名
12/3	高島第一小 6 年生	62 名
1/28	新河岸小 4 年生	14 名
3/14	高島第一中 9 年生	74 名

<城北職業能力開発センター板橋校>

開催日	対象	人数
5/24	介護サービス科生徒	18 名
10/25	介護サービス科生徒	16 名

10. その他

<元気力測定会> 元気力チェックシート、測定会実施、短期集中講座案内

日時	場所	対象	参加
6/25 10:00-12:00	舟渡ホール	地域住民	23 名
7/19 10:00-12:00	新河岸第一集会所	地域住民	31 名

<出前講座>

(小中学校への出前講座)

開催日	対象	人数	
9/12	舟渡小 4年生	84 名	高齢者体験(認知症、視覚障害、車椅子、手洗い)
11/22	志村第五中 7年生	103 名	ヤングケアラー
1/28	新河岸小 6 年生	23 名	キャリア教育

(高島平ふれあい館への出前講座)

日時	対象	人数	
12/7 13:00-14:30	高島平ふれあい館 参加者 住民	20 名	終活、エンディングノート(支え合い 会議高島平、終活コンシェルジュ 協力)
2/1 13:30~14:30	高島平ふれあい館 参加者 住民	19 名	終活、エンディングノート(支え合い 会議高島平、終活コンシェルジュ 協力)

舟渡居宅介護支事業所

1. 契約状況

- 令和5年度の給付管理数については、職員2名が退職となり、その後の補充はなく、10月より新規受け入れを休止としました。その為、予算は未達(▲25)となりましたが、職員1人当たりの担当件数が3月時点で43件と減算ライン手前までとなりました。他包括・医療機関・家族・ロコミでの相談件数が144件となりました。その中で他包括等から相談が約117件と半数以上を占め、新規給付につながっている。
- 年間を通じ板橋区舟渡、蓮根、高島平、三園各おとしより相談センターをはじめ、近隣医療機関・本人・家族からの依頼、他問題ケース含め受託しました。

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年	前年比
契約者数	267	270	271	272	270	263	261	262	265	255	269	272	3,197	3,693	87%
新規	6	11	9	7	7	7	6	9	9	7	18	12	108	105	103%
終了・停止	12	12	9	9	17	9	8	6	17	7	10	12	128	78	164%
再開	1	4	4	3	1	2	1	0	0	0	3	1	20	84	24%
給付管理者数	255	258	262	263	254	254	253	256	248	248	259	260	3,070	3,515	87%

2. 訪問調査件数

- 板橋区50件、他自治体0件を実施、計50件を実施しました。
- COVID-19の影響で、認定有効期間の延長措置がとられていたが、10月より延長措置が終了となり、大幅に区内の認定調査件数が増加した。また認定調査の費用対効果から率先して他自治体の認定調査を受ける必要性がないと判断した。

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
13	19	7	12	16	9	4	2	4	6	9	4	105

3. 給付管理業務

- 介護度により前年比増減が異なります。
- 要介護1、要介護2の利用者数が全体の給付管理者数の約半数を占めている状態です。
- 要介護4、5の利用者数が前年度より増えております。
- 予防委託ケースが全体給付管理数の約7%の状態。舟渡包括からの委託ケースを停止しました。

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	割合	前年	前年比
要支援1	5	6	9	9	9	7	7	11	11	11	12	12	109	4%	86	127%
要支援2	13	15	14	12	11	14	16	14	13	11	14	14	161	5%	180	89%
要介護1	76	77	81	81	78	77	76	78	73	75	76	73	921	30%	1,180	78%
要介護2	75	77	78	77	82	81	82	78	78	75	73	76	932	30%	966	96%
要介護3	31	26	26	27	29	30	29	29	31	33	36	36	363	12%	388	94%
要介護4	30	32	32	32	25	25	22	24	22	25	28	31	328	11%	374	88%
要介護5	25	25	22	25	20	20	21	22	20	18	20	18	256	8%	340	75%
合計	255	258	262	263	254	254	253	256	248	248	259	260	3,070	100%	3,514	87%

4. その他

- ・特定事業所集中減算を回避し、特定事業所加算Ⅱの運営基準を遵守しました。

5. 研修

COVID-19も落ち着き、集合型の研修や交流会も増えてきている。

- ・舟渡地区ケアマネジャー研修会・事例検討会(6月・7月)
- ・おとセン主催「新任 CM 向け研修」、「2024 年度制度改正が居宅業務に与える影響」
- ・高島平ケアマネジャー交流会(11月、3月)
- ・志村地区事業者交流会(11月)
- ・坂下地域特定事業所合同研修(10月)
- ・舟渡地区ケアマネ研修交流会(10月)
- ・おとセン主催研修(5月、11月、12月)
- ・高島平包括主催 「どうする認知症支援」
- ・東京都主催「ケアマネジメントの質の向上研修」(2月)
- ・舟渡包括主催 小地域ケア会議 (2月)
- ・舟渡包括主催 ケアマネ交流会(5月、11月)
- ・蓮根ケアマネカフェ(5月、6月、8月、2月)、小地域ケア会議
- ・BCP セミナー(7月、8月、9月)

6. 勉強会

①施設内

- ・事業計画説明会 (4月)
- ・事業計画中間報告会 (9月)
- ・TQM研修(12月)

②その他、勉強会につきましては、上記研修後に各担当者が勉強会を開催している。

7. 会議等

- ・週 1 回定例会開催
 - ・他法人との勉強会及び研修会の調整会議を都度行う。
- 坂下ゼミ(10月)